

子育て世代とのタウンミーティングの概要

開催日 令和7年7月9日（水）午前10時から
会場 第一委員会室



意見交換の概要

発言者 1

給食費が2学期から無償化になることはありがたいのですが、それよりもまず、今、この暑さに子どもたちは困っていて、ウォーターサーバーの設置を求めています。給食費半額よりウォーターサーバーの設置をどうか検討していただきたいと思います。

子育て世代包括支援センターを利用したことがあります、知っている方が少ないように思います。何かに困っている際、子育て世代包括支援センターで相談できるということを知らない方が多いと思います。学校や幼稚園などからお母さんの子育て不安を相談できる場所

があるということをもっと大きく伝えていただけたらと思います。

放課後の過ごし方について、公園は結構あるのですが、日除けになるものがないため、長時間居られません。遊び疲れ休みたい時に日除けになるものがあればよいと思います。

児童館についても、上尾市のように支援員さんがいて、大きい子から小さい子まで遊べるような場所が川越にあつたら、放課後が楽しく過ごせると思います。

総合政策部長

確かに昨今の暑さはかなり深刻かなと思います。小さい子も水筒を抱えて通学していますけども大変な部分もありますので、ウォーターサーバーの設置は少し検討させていただきたいと思います。

U_PLACE の子育て世代包括支援センターをご利用いただいていること、大変ありがとうございます。同センターは、妊娠期の相談、保育園の入園の相談、障害者・高齢者の困り事等、包括的な相談の窓口になっています。もっとアピールしたらという逆に後押ししていただけるメッセージをいただきましたので、こども未来部と一緒に多くの方に知っていたく方策を考えていきたいと思います。

また、公園の日除けの関係は、これは公立保育園の場合ですと黒い日除けを入れてこどもたちが遊ぶようにしていますが、公園ですと樹木を植えると、その樹木が大きくなつて枝を落とす、あるいは落ち葉をどうするという課題が生じます。こどもたちが遊ぶ環境として日陰がないというのもどうか思いますので、公園を所管する都市計画部と意見交換したいと思います。

児童館については、特にプラネタリウムの部分がかなり古い機械で、特定の人しか操作できないような状況になっています。前回のタウンミーティングの際も、児童館の充実というご意見をいただいているので、貴重なご意見として検討させていただきたいと思います。

こども未来部長

お手元に配布しました「こえどちゃん」をご覧いただくと、特に子育て支援に対して皆様が困っているであろうことに対する取組を掲載しています。今年も「こえどちゃん」を2万部作成し、皆様に配布を始めています。お手に取っていただいて、お友達に紹介していただければと思います。

市ホームページにも子育て支援の情報を載せてはいますので、ご覧いただきたいと思います。情報が足りないというようなご意見があれば、ぜひ、こども未来部の方にお寄せいただきまして、できる限り皆さんが必要とされる情報を発信していきたいと思います。

学校教育部長

こどもたちの登下校を含む熱中症対策は、私達としてもしっかりと取り組んでいかなければいけないという認識でいます。こどもたちの健康、こどもたちの命を守るということが一番大事と思っています。普通教室には空調設備が入りましたので、今後は、特別教室への空調設備の設置を段階的に進めてまいります。その他、暑さ対策について何ができるか、関係課と相談をしながら検討していきたいと思います。

市長

本当に暑い日が最近続いている中、公園の日除けが欲しいという気持ちもわかりますし、また、室内で遊べる児童館を充実してほしいというお気持ちはとてもわかりますので、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

発言者2

給食費を、2学期から半額にしていただけるということ、大変ありがたいと思います。予算も大変だったと思います。クリスマスにケーキを出す計画もされているということで、子どもに今日帰って伝えてあげたいなと思います。半額ということですが、市がどのぐらいの金額を出しているのかということをもっと出してもよいと思います。メディアで、無償化になると中間マージンが取られるというような、あまり良くないイメージが流れているので、無償化された際に違うところにお金が行くことが無いように、これだけ助成してこの給食を出しているということを見せていただければ安心できると思います。

無理をして無償化にして、赤字になるならば無償化せず、例えば保護者負担を据え置く、反対に市の負担を据え置き保護者負担は毎年変わりますというのではと考えます。私は、食事を気にしており、安心して今後も給食を食べていける、栄養が偏らないものになっていけばと思います。

子ども計画の中で、子どもの人数が少子化で少なくなっている中、1人当たりにかける金額が減っていくのかと思うと悲しくなります。子どもが減っても、予算を減らさず、教育に予算を充てていただき、川越で生まれてよかった、川越で育ってよかったと思えるようになればと思います。

川越市は他市に比べて教育費が手薄と感じます。学校に網戸がなく、虫が入ってきて授業が中止したことがあると聞きました。

給食の献立を考える栄養士さんにしわ寄せが行かないような予算配分をお願いします。川越の特産品の商品を給食に出て、子どもが将来、川越の給食は良かった、学校が楽しかったといえるようにしていただければと思います。

総合政策部長

ご意見ありがとうございます。6月の補正予算で物価高騰している食材については、2億円を手当しました。先ほど行事食のこともご指摘いただきました。ありがとうございます。ぜひお子さんにお伝えいただきたいと思います。通常の量を出す、鶏肉ではなく豚肉を出すなどの工夫を、手当でした2億円で行なっていきますので安心いただければと思います。

給食の質と量を確保した上で、子育て世代は負担が大きいので、半額補助するということをご理解いただきたいと思います。市民からいただいた貴重な財源がきちんと使われるよう、お金の使い方の工夫を引き続きしていきたいと思います。

給食費は、小学校は月額4,350円、中学校は月額5,250円の負担をお願いしています。平成27年度から額を改定していませんので、今の物価高騰に見合うかどうかということも検討が必要と考えています。質と量を確保しつつ、保護者の方の負担とのバランスをとりやつ

ていきたいと思います。

教育予算については、こどもまんなか社会の実現ということを市長、部長からも申し上げたとおりですので、限られた財源の中で、少しでも多くの予算を充てられるように工夫したいと思います。

今、実費徴収金の額が抑えられていることによって、栄養士が献立の工夫をしているということもありますが、2億円の補正予算を充てることによって、ある程度改善されます。今後も持続できるように市全体としても頑張っていきたいと思います。

こども未来部長

川越市の予算の配分を見ますと、市の全体予算のうちの1割以上を教育にしっかりと充ててきています。学校建設にお金がかかってしまい他の施策に十分にお金を回せないような時代もありました。今は、学校を良くしていく、施設を良くしていくということにお金がかなり使われているため、皆さんから見ると教育にお金がかけられてないというところに繋がってしまうことが残念です。直近では、川越市は他の自治体に先駆けて、こどもたち1人に1台端末を整備してネット環境をきちんと作っており、それを活用したこれからの教育ということも期待できると思います。

学校教育部長

学校給食に関しては、一番発達、発育の著しい時期のこどもたちでもあり、食育という視点でも学校給食の質と量を確保していくことはとても大事だと思います。しっかりと取り組んでいきたいと思います。

教育予算については、施設設備の面、GIGAスクール構想の推進等教育の中身の充実も含めてしっかりと取り組んでいきたいと思います。

市長

今回は、私の公約である給食費無償化実現の第一歩ということでやらせていただいたものです。教育に力を入れていくというのも私の公約ですので、しっかりと目をかけていきたいと思います。給食については、今、関心が高まっていて、不安を感じてらっしゃる保護者が多いということがよくわかります。私も3回ほど給食を食べました。私は大変美味しいと思いました。アンケートでも9割近くの児童生徒が美味しいと答えています。主観的なものでございますけれども、ぜひ保護者の方に食べていただく機会を増やしたいなと思います。それでどう思うかというところ、見ていただきたいなというところは考えています。川越の特産の商品などを出すなど大変面白い、良い意見ありがとうございます。

発言者3

こどもの放課後の過ごし方、居場所についてです。放課後の過ごし方として、小学生は学童保育施設で、中学生になると部活動という形かと思います。部活動は全員が入らなくてよいことになり、教師の働き方改革の一因でしょうか、地域移行を進めている中、指導者がいないことで、部活動の選択肢が減り充実した部活動ができない状態があります。公園はありますがボール遊びが禁止されていましたり、家の前でちょっと話をしてるとそれがクレームに

なってしまう。こども達はどこで時間を過ごしたらいいのかなと思います。本当にこどもの居場所がないと思います。

スポーツ少年団の活動で教育センターや農業ふれあいセンターの体育館を借用することがあります、空調設備がないので整備をしていただきたいと思います。

特別教室の空調設備が整備されるということですが、PTAの会議室など、保護者が活動する場の整備もお願いします。

学童保育の費用は引き落としですが、おやつ代に関しては保護者が集金をしています。保護者がやることに疑問を持っています。

学童保育が習い事の場になり、地域移行が進み、こどもの居場所の確保ができるようになればと思います。

学校教育部長

こどもの居場所ということでは、部活動の地域連携、地域移行に取り組んでいます。教職員の働き方改革という視点は確かにありますが、中心となる考え方は、今後、生徒の数が減っていき、学校の規模も小さくなっていくので教職員数も少なくなっています。部活動の数も当然少なくなっていくことが想定されています。部活動が、こどもたちの主体的な活動の場として、持続可能な方法を検討する中で出てきたのが部活動の地域連携、地域移行ということになります。

一部の学校に部活動指導員を配置し、また、外部人材を部活動支援員として配置しています。こどもたちの受け皿を今後どのように確保していくかということを、地域のスポーツ団体や文化団体とも連携をしながら取り組み始めたところです。こどもたちが主体的に活動できる場として、居場所作りができるよう検討していきたいと思います。

こども未来部長

中学生、高校生、また、卒業した方の居場所がないのが現実と思います。昨年末から、児童館等の空きスペースに照明を積極的に配置し、勉強ができるようにしたり、公民館の部屋が空いている時間があれば積極的に広報し、こども達が使えるようにするという活動も行っています。今年度は、児童館を中心としたこどもの居場所についてどうしていくかという構想づくりにも着手していく予定です。

市長

多岐にわたるご意見ありがとうございます。部活動について、先日、イギリスから来た方とお話ししたときに、イギリスでは部活がないので、こどもたちが時間を持て余していると聞きました。日本では、部活があるのでしっかりとこどもたちが健全に育つということを改めて思いまして、部活動文化というものを時代に合わせて維持、活性化していく必要性を感じたところです。

また、こどもの声がうるさいという意見が絶えないところです。社会全体としてこどもの声は騒音ではないということを共有してもらえる社会になってほしいと思います。その地域づくりをどうしたらできるのかということを、社会全体の問題として捉えてもらえないかな

と感じます。

小中学校の体育館に空調設備を設置する際、1校当たり1億円ぐらいかかりますのでしっかりと頑張っていきます。

発言者4

学校給食の件で、お米は川越産を使用していると聞いていますが、お米だけではなくて、野菜もできるだけ地産地消化を進めて欲しいと思います。一部のうどんなどの小麦は埼玉県産や国内産を使っていると聞いています。それ以外のパンなどの主食の小麦粉も、国内産を使って欲しいと思います。

食は、子どもの心と体の成長に重要だと思っています。農薬や予防接種もたくさんある関係で、アレルギーなども起きているのではないかとも言われていますし、発達障害とか言われる子どもも栄養をしっかりとることで、改善に向かうということも聞いています。

給食の試食会に参加したところ、大変美味しく、子どもも喜んで食べています。味が美味しいことはもちろんですが、健康的で質が高い和食中心の給食へ転換をしていただきたいと思います。

家庭でも食が乱れているということもあるので、せめて給食だけはより良い食材を使ったものを食べさせてあげたいと思います。給食費が9月から半額になるということですが、食材などの充実に振り分けていただきたいと思います。

牛乳に関しては好き嫌いが分かれます。県内では越谷市は選択制になっていると聞いていますので、選択制になればと思います。

子どもの通う小学校では、5年生で田植えを行い、米や野菜など自分たちが食べるものを自分たちで作るという独自のカリキュラムを行っています。全ての学校に取り入れていくとよいと思います。

ドローンによる農薬散布が実施されることが学校や保育園には通知されました、地域に広く周知されず心配になりました。防災無線などを使って周知する、学校に配布物を渡すなどして保護者にも伝えて欲しいと思います。

自宅で自転車にカギをかけずに置いておいたら盗まれてしまいました。防犯対策をお願いします。

総合政策部長

農薬散布についてご心配される部分もあると思いますので、産業観光部に伝え、周知方法があるか、検討させてもらいたいと思います。

学校教育部長

地産地消については、令和6年度の実績で25.5%の地場産の農産物を使用しています。具体的には、ニンジン、ゴボウ、チンゲン菜、カブ、小松菜などを積極的に活用しています。お米については川越産を使っています。小麦については国産、県産を多く使用するよう配慮しています。牛乳については残してしまう子が多いというのが大きな課題と捉えています。選択制のご意見については、担当課に伝えます。

和食の採用や、有機食材の採用についても、今後、研究していきたいと思います。

こどもたちの体験活動について、全ての小中学校で緑の学校ファームということで取り組んでいます。花を植えたり、野菜栽培をしたり、地域の協力をいただき田んぼでお米を作るといった体験活動をしている学校もございます。教育的な意義も大きいものがあると認識をしています。その学校の状況を踏まえながら、できる範囲で取り組んでいるところです。さらなる充実について学校にも働きかけをしていきたいと考えております。

市民部長

自転車盗が最近は増えています。コロナ以前の件数に戻りつつあるので、ただ鍵をかけるだけではなく、ツーロックを推奨しています。

市長

いずれも貴重なご意見ありがとうございました。自転車盗も、最近は逮捕もするし、補導もします。盗む方が完全に悪いですけども、無施錠の自転車が盗まれるので、鍵をかけるだけでだいぶ防げます。気をつけていただきたいと思います。

発言者5

ヘルメットを着用せず自転車に乗っているこどもたちの姿を見かけることが多く驚いています。ヘルメットをかぶって守られる命があると思います。川越市全体の学校で徹底していただいた方が良いと思います。

学級支援教員が足りていないと感じます。低学年のクラスに必要だと思いますが、小学1年生は幼稚園、保育園から上がってきたばかりでとても手がかかり、担任1人で見切れない状況もあります。以前住んでいた市の小学校では、保護者の方に給食、プール活動などにボランティアとして来てもらっていました。また、夏休みに学校の教室を開放して、先生はつけず、保護者の方にボランティアに入ってもらい勉強をしたり、カードゲーム、トランプ、ボードゲームなど持ち込み過ごすということを行っていました。その際に、I Cリーダーで保護者に出欠席が通知されるようなシステムがありました。このような取組を川越市でも行ってもよいと思います。

学校と保護者と地域でこどもを育てていくにあたり、学校が保護者からの意見を聞いていただかないと学校に直接届くことはないと思うので、保護者からの意見を聞くようお願いします。

学校教育部長

貴重なご意見ありがとうございました。

まず、交通安全教室につきましては、関係課と連携をしながら取り組んでいます。自転車教室については、交通指導員に来ていただく方法や、警察の方に関わっていただいて4年生を中心に自転車教室を実施しています。その他、小学校1年生にはどの学校でも入学するとすぐに交通安全教室を行っています。ヘルメット着用については、安全教室やその他の場面で積極的に指導しています。今後も、繰り返し指導していきたいと考えております。

学校現場における学級支援員の配置等については、学級支援員を市費で各学校に配置し

ています。学校のニーズに十分応えられているかというと、なかなかそこまで配置しきれてないという現状です。予算上難しいところもございますが、拡充に向けて努力していきたいと考えています。

また、今のこどもたちの様子を見ていると、様々な人がこどもたちに関わっていくということが大事なので、保護者の方、地域の方にご協力いただくことは非常に重要な視点かと思いますので、校長会等で働きかけを進めていきたいと思います。

最後にアンケートについて、学校は、保護者や地域の方への説明責任もありますし、保護者や地域の方もこどもを育む当事者としての意識を持っていただくことも大事なので、双方向的なやりとりができるよう、改めて学校にも働きかけをしていきたいと思います。

市民部長

自転車教室について補足させていただきます。指導員が行う自転車教室と、警察主催のものがあると申し上げましたが、いずれの教室につきましても、自転車を持参してもらい点検ですとか、模擬コースの走行や交通ルールの周知も行っております。その際には、ヘルメットの着用についても指導を行っています。

また、警察の教室では、簡単な実技試験を行い、合格した時には免許証を発行するということもやっています。ヘルメットの着用率はかなり低いと感じますので、こどもだけに限らず市民の方にも、広くヘルメットの着用について、周知啓発していきたいと考えています。

市長

外から見たからこそわかる貴重な意見、いずれもありがとうございました。保護者がボランティアで学校に入って支援をすることは、大変よいと思いました。今後、検討していきたいと思います。ありがとうございました。

意見者 6

学校のセキュリティ面を強化していただきたいと思います。こどもを学童保育に迎えに行くと門が誰でも開けられてしまうこと、来校者のチェックが緩いのではと保護者間で話題になりました。最近、職場の近隣の小学校で、保護者が刃物を持って教室に乱入するという事件もあり、周りの保護者もそれを心配していたので、オートロック化、警備の強化、監視カメラの設置など費用は掛かりますが、こどもや先生方も含めて皆が安心して過ごせる学校の環境作りを実現していただきたいと思います。

保護者の負担軽減のために外部委託等の活用を提案します。具体的には P T A 活動と地域の旗当番です。PTA は、本来、任意の団体ですが、それが現状として実質強制になっているところに疑問を感じている保護者が多くいます。時代に合わせて制度の見直し、可能であれば外部委託を提案させていただきます。

地域の旗当番について、P T A 活動と同様に地域ごとに保護者が交代で行っています。ご家庭の事情により旗当番が難しいという方もたくさんいます。シルバー人材センターですか、警備会社ですか、地域の方のご協力もいただいて民間委託ができないかと考えています。子育て世代がもっと安心して仕事と家庭のことが両立できるよう、柔軟で持続可能な仕

組み作りを検討していただきたいと思います。

学校教育部長

ご意見ありがとうございました。学校の安全セキュリティ面については立川市での事件もありましたので、私達もこどもたちの命を守る、安全ということについては問題意識を持っています。不審者が学校へ入ってくるというようなことを踏まえて、学校でもいろいろ工夫をしております。正門が開いているというところもありますが、昇降口を閉めたり、来校者チェックについても保護者の方に名札をつけていただいて必ず事務所で名前を書いて入っていただくというような体制をとっています。それだけではなかなか防げないところも、現状としてはあるということも認識をしています。防犯カメラなど様々な方法あると思いますので、これから何ができるのかについて考えていただきたいと思います。

保護者の方の負担軽減について、PTAの活動については、社会の変化もあり、いろいろ考えていかなければいけない時代に入ってきたという認識は持っております。持続可能な体制をもっと工夫をしていく必要あると考えていますので、学校への働きかけ、関係課と相談をするなどし、進めていきたいと思います。

旗当番は、地域ごとに状況は違うのではないかと捉えています。旗当番については小さな地区で当番を回していると、すぐに次の順番が回ってくるという状況があるというのはこちらも認識しています。自治会とか地域の方に協力をしていただき、見守りをしていただいている地区もございますし、保護者の方にご協力をいただいている地区もございます。基本的には、登下校については保護者の方の責任でという話になってしまいますが、ただ学校の立場としてもこどもたちが安全に登下校できることはとても大事な視点ですのでいろいろ考えていただきたいと思います。

委託のご提案がございました。小学校が川越市には32校ございますので、なかなか現実に難しいところもあるかと思いますが、貴重な意見として受け止めさせていただきます。

総合政策部長

新設する古谷保育園については、不審者対策というところで、電子ロックを導入する予定です。市としてもセキュリティに配慮しておりますことを紹介させていただきます。

市長

貴重なご意見ありがとうございました。特に保護者の負担軽減というところは、先ほど学童の保護者会の話も出ていましたけど、例えば保護者会が集金する制度っていうのは、元々はこどもが健康的なおやつを取れるようにということで、保護者側が望んで集金を始めたという経緯を聞いています。先ほどお話があったように、時代が変わって、働くお母さんはかなり増えているという中、保護者の負担軽減を図ることは、避けられない必須のことであろうと思っています。

一つずつ課題を解決しながら、楽しく子育てできる環境を作つてまいりたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

発言者7

保育園の入園基準について、こどもを入園させるのに、就労と介護で出したところ、どちらかでしか認められないと言わされました。私は、7人のこどもを育てながら、寝たきりの妹のキーパーソンとして介護をしていることをお話させていただきましたが、どちらかでしか認められないと言われショックでした。私は、3人のこどもがたまたま同じ保育園に入園することができました。限られた定員があるのは仕方ないですが、どうにか上の子たちと同じ保育園に通えるようにしていただきたい。今の基準では3点しか加点されない。3点では、同じ保育園に通うことができないです。就労する時間が多い方が優先、その次に先生、その次に看護師さんというように入園基準が決まっているので、たった3点の加点ではどうしても同じ保育園に通うことができないです。

父親がたまたま休みで送迎して車の中にこどもを置き去りにし、熱中症で亡くなるという悲しいニュースを耳にしたことがあると思います。これは、点数の関係で、別々の保育園に送迎することになった、行政の至らない点が悲しいニュースに結びついたのだと思います。川越市で悲しいニュースが起きないよう、どうか行政の方でも同じ保育園に通うことができるよう動いていただきたいと思います。

冊子にある「地域こども子育て支援事業」についてです。「産後ケア事業」、「妊婦等包括相談支援事業」、「乳児等通園支援事業」を行うとのことですが、誰に対して具体的にどう取り組んでいくのかが見えません。私は仕事が忙しく、妹の介護もあったので7人目を自宅で産みました。妊婦健診も受けず、病院にも行かず自宅で産みました、保健師さんは心配し、気を配って電話してくださいましたが、私からしたらお説教に感じました。電話では、例えばこういうサービスがあるといった紹介などは具体的になく、ただただ駄目よと怒られるだけで、アフターフォローはありませんでした。市として、どういう目的で保健師から連絡するのか明確にされた方が良いと思います。

こども未来部長

私どもの説明が至らないため、不安な気持ち、嫌な気持ちにさせてしまったことについて、私からも謝罪申し上げたいと思います。どうもすみませんでした。

まず保育園の入園審査については、本当にご不便、ご不自由をかけていると、承知しています。保育園の入園については様々な事情があることに鑑み点数化して、仕事と介護については、基本的には、合算して点数化することをしていません。これを、すぐに変えるということには至りませんが、こどもたちが置かれている環境、保護者の子育て環境が多様化してきていることから、状況を見ながら見直しをするように指示をしているところです。

こども子育て事業について、説明が至らなく、申し訳ございませんでした。こども子育て事業の概要を冊子に掲げさせていただいており、それぞれターゲットがあります。「産後ケア事業」で言えば、出産をされた後の特に保護者の心身ケア、最近は心の不安定さがご自身の体を蝕んでいくような状況が多く見られるというところを、産婦人科をご利用いただいてケアしていくこうという事業となっています。基本的には、産後の方、その家族をターゲットとしています。

「妊婦等包括相談」は、妊娠される前、妊活も含めて、子どもを産み育てるという過程の中で、様々ご心配がある方たちに対して、できる限り寄り添った情報提供を行うことがこの相談支援事業の柱となります。ターゲットは妊娠、出産を控えている、または産後の方たちを対象に行うものです。

「こども誰でも通園制度」は、今年度から試行的に実施するものです。保育は、本来、仕事や介護のため、子どもを見られない場合に提供するものですが、一定の要件はありますが、理由を問わず保育サービスを自由に使っていただけるような制度です。6ヶ月以上から3歳未満児対象にして、その保護者の方をターゲットとしています。

市長

ありがとうございました。子どもを7人、寝たきりの妹さんの介護をしながらというのは、驚きました。尊敬します。改めて、保育園の点数のあり方の見直しが必要かもしれないというところ、妊娠中、身体的に負担が多い中で、精神的にもプレッシャーかけるような対応があったということで、その辺り見直していきたいと思います。

市長

皆様、本日は貴重なお時間を割いてタウンミーティングに参加していただきましてありがとうございました。改めてお礼を申し上げます。皆様が、自分の子どもをしっかりと成長させたいという切実な思いから出た意見であったと思います。全てにコメントできなかった部分はありますが、しっかりと受け止め、今後の市政運営に生かしていきたいと思います。本日は本当にありがとうございました。